



# 「医療専攻」便り

三条東高等学校 Vol.2 (平成30年2月21日)

医療専攻二期生二学期活動内容

## ●医療専攻公開講演会 9月1日(木) 16:15~17:05

講師：本校卒業生4名

新潟大学医学部保健学科看護学専攻 新潟大学医学部保健学科検査技術科学専攻

新潟県立看護大学看護学部看護学科 新潟医療福祉大学医療技術学部理学療法学科

演題：大学進学を目指す後輩へ

内容：自身の体験、大学生活について、後輩に伝えたいことということで一人一人から話



を聞いた。医療従事者を目指すきっかけや高校時代どのように過ごしていたか、受験勉強の仕方、大学でどのようなことをしているのかといった、今の自分たちがこれから向かっていくところが想像しやすくなるような内容だった。自分たちの選んだ大学生活がとても充実しているということや、もうすぐ希望していた医療現場に出ていくという期待や不安感も感じられた。入試の方法も推薦、前期入学、後期入学と話を聞けたため、1年後の自分たちに向けて沢山のメッセージを送ってもらうことができた。



## ●医療専攻講演会④ 9月5日(火) 16:00~17:05

講師：柄澤 清美 様

演題：包括的ケアシステムについて

内容：キャッチフレーズは“ときどき入院、ほぼ在宅”その背景は高齢化・医療進歩と転換などが与えられていて、社会保障費の効率的運用の狙いがあるということだった。

地域(助け合えるユニットとしてのコミュニティ)包括ケア(バラバラじゃなくて切れ目のない患者中心の)システム

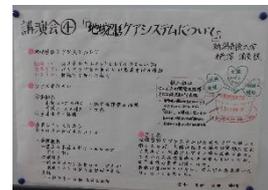
(継続性をもつ仕組み)時代の医療専門職 「してあげるケ

アからの脱却」「多職種連携のためのコネクター役割も担う」「地域に開かれた眼差しをもつ」「入院の瞬間から暮らしに戻れるケアをする」、本当に必要なことを専門

的にジャッジできることがニーズという話を聞いて、将来どんな医療専門職を目指しますか?という問いかけをいただいた。

## ○医療専攻学習会④ 9月7日(木) 16:15~17:00

内容：文化祭企画の準備



●医療専攻講演会⑤ 10月10日(火) 16:00~17:00

講師：川野 英子 様

演題：現在の医療の抱える問題

内容：訪問看護の特徴や在宅看護で生じる負担や介護離職の現状と仕事をしながらの介護について具体的事例を交えながら、在宅看護で生じる負担と解決策についてお話をいただいた。医療費の負担から在宅医療へ移行していることや介護負担の解決策としてAIが取り入れられていること、そして病院で看ると、在宅で看ることの大きな違い、すなわち病院は病気中心の目であり、在宅は病気と生き方のバランスが必要といったことを知る大きな機会となり、医療現場の実態を感じることができた。



○医療専攻学習会⑤ 10月12日(木) 16:15~17:00

内容：講演会⑤のグループ討議・発表



- ・人それぞれ違った意見を持っていて、それをグループごとに主張しあえた。
- ・在宅介護を推進することに賛成の人が多い。
- ・訪問看護は必要かどうか議論することができた。いい面もあるが、想像以上に大変であると思った。

●医療専攻講演会⑥ 11月7日(火) 16:00~17:05

講師：NPO法人難病支援ネットワーク 医師 西澤 正豊 様 石川 秀和 様

演題：「難病って？」 「難病・絶望・知る・前向き」

内容：最初に西澤医師より、代表的な難病について説明があり、その中で難病は誰にでも発症する可能性があり、現場に入ったらすぐに出会う病であるということを知った。担当者に求められる最も基本的なことは観察する力・創造する力・共感する力であるということも学ぶことができた。その後、難病を経験された石川様



からも直接話を聞くことができた。念願だった会社に入社し、夢や目標、希望を持っていた頃、突然の難病の宣告・・・会社からの解雇通告。診断がでたときの感覚は「自分がいた世界から急に切り離された」感覚。一度は社会復帰したが再発したため解雇になった。好きだった仕事、趣味ができなくなり、「どうせ難病だし・・・」と諦める時期もあったが、同じ難病の人が前向きに生きていることを知り、「生きていく覚悟」を決めたということだった。私たちにできることはなにかあるのだろうか、医療人として大切にしていかなければいけないこととは何か、とても考えさせられる機会となりました。

○医療専攻学習会⑥ 11月9日(木) 16:15~17:00

内容：講演会⑥のグループ討議・発表

- ・呼吸が困難になったとき人工呼吸器をつけるかつかないかで話し合いをしたが、様々な考え方がありとても難しい問題であることを再認識した。
- ・難病で悩んでいる人たちのために、自分たちは何ができるのか考えてみようと思う。